

(1) 事業の概要等

事業番号	B1100
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	二次機能医療機能運営事業					担当部			健康生きがい推進部		
	事業期間	平成20年度	～	令和6年度以降		担当課			保健センター			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	11	展開 方向	担当係			予防検診係			
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	1	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	二次医療機能運営事業は、春日井小牧地域の第二次救急医療体制を担当する小牧第一病院に対して、運営費の一部を補助する。										
	対象 (何・誰を対象に)	小牧第一病院										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>補助額: 運営に必要な給与費等71,040円×診療日数</p> <p>※第二次救急医療体制を有する医療機関とは、                  ①24時間体制で救急患者に必要な検査、治療ができる。                  ②救急患者のために優先的に使用できる病床を有する。                  ③救急患者を原則として24時間体制で受け入れる。</p> <p>・平日の夜間、休日の昼夜における二次医療として、入院を必要とする急病に対応する。                  ・春日井小牧二次救急医療圏には、二次救急医療施設として小牧市に小牧第一病院と春日井市に名古屋徳洲会病院がある。</p> <p>【03実績15,771,000円、02実績15,415,680円、31実績15,770,880円、30実績15,841,920円】</p> <p>【参考】                  一次救急医療→軽度救急患者                  二次救急医療→入院又は緊急手術を要する重症救急患者                  三次救急医療→高度医療を24時間体制で総合的に提供</p>										
受益者負担	無											

(2) 事業費

		項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	15,842	15,771	15,416	15,771
		国・県支出金	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		計(A)	千円	15,842	15,771	15,416	15,771	
	対前年比	%	—	0	△2	2		
	予算額	千円	15,842	15,842	15,416	15,771	15,132	
人件費	正規職員	人	1	1	1	1.0		
	正規職員(平均賃金)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486		
	その他職員	人	0	0	0	0		
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0		
	計(B)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486		
事業費合計(C=A+B)		千円	23,328	23,257	22,902	23,257		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		11		展開方向	
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	受診者数(夜間)	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	61	64	
	活動指標	診療日数(夜間)	日	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	182	183	
	単事業あたり	受益者数(a)	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	35	39	
	単事業あたり	受益者あたり事業費(=C/a)	円	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—	—

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>平日の夜間もしくは休日の昼夜の入院を要する急病患者へ二次救急医療を提供した。また、①24時間体制で救急患者に必要な検査、治療ができる②救急患者のために優先的に使用できる病床を有する③救急患者を原則として24時間体制で受け入れるために必要であり、事業費の維持を図る必要がある。</p> <p>なお、課題としては、近年、休日診療を行っている医療機関が増えていることと、また、小牧市と春日井市で行っている輪番制での病院運営であるが、春日井市では名古屋徳洲会総合病院に対して補助金を出していないため、将来的には、補助自体の必要性を検討していくべきであると考え。</p>					
	今後の実施内容	<p>今後も、小牧第一病院においては、二次医療機能として、24時間体制で救急患者に必要な検査・治療、救急患者のために優先的に使用できる病床を有し、救急患者を原則として24時間体制で受け入れていただく必要があるため継続する。また、名古屋徳洲会総合病院に対しては、春日井市では補助金を出していないことを踏まえ、補助金の必要性を検討していく。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	